

校長挨拶



校長
大高 淳

大子清流高等学校の「スクールガイド」をご覧ください、誠にありがとうございます。

本校は、長い伝統と歴史を持つ、大子第一高等学校（1907年～2006年）と大子第二高等学校（1910年～2006年）の精神を受け継ぎ、2004年4月に誕生した、今年度創立17年を迎える高等学校です。

生徒一人ひとりの『夢』や『進路希望』の発見と実現に向け、学習面では「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた少人数授業や習熟度別授業、教科横断的な授業そして多様な進路に応じた課外授業などを実施し、学力向上や苦手科目の克服を図っています。3年間を見通したキャリア教育を実践するとともに、筑波大学・茨城大学や大子町等と連携した探求活動や課題研究も展開し、将来の進路や職業選択に生かされています。さらに、担任やその他の教職員による親身な進路相談を通して一人ひとりをバックアップしています。

『農林科学科』では、多くの専門科目を通して、農業や林業についての専門的な知識や技術を実践的に身につけるのはもちろんのこと、「オオクワガタの繁殖飼育」や「ドローン講習」など、先端技術も研究・学習することができます。また、募集は全国の中学生を対象とし、親元を離れて学ぶ生徒のための里親制度や、大子町からの支援制度なども用意されています。就職だけではなく、専門性を生かした大学への進学についても対応しています。

『総合学科』では、1年生で総合学科独自の科目である「産業社会と人間」を通し、各自の将来について考えます。そして、2年生から、それぞれの進路希望や興味関心に応じて、『人文科学』、『自然科学』、『福祉』の3系列から1つを選択します。大学や専門学校への進学、各種公務員や民間企業への就職など生徒の幅広い希望に対応出来るよう、普通科高校では学ぶことのできない科目を設けています。

コロナウイルス感染拡大に伴う約3か月の休校期間においても、生徒たちの教育の保障に向け、課題の作成やインターネットを利用した解説動画等の配信。そして、感染対策をした登校日の設定や学習に対し不安がある生徒やネット環境のない生徒への補習実施、さらに課題や解説の郵送などを行うとともに、インターネットや電話等での心身の健康チェックや教育相談・進路相談などを行うなど、ここでも、生徒一人ひとりに寄り添った教育を実践しています。

グローバル教育の一環として実施しているタイ王国カセサート大学附属高等学校との国際交流事業や、インドネシアでの林業研修を、コロナウイルス感染の影響で、今年度は見送ります。しかし、オンラインでの交流やワールドキャラバンを計画しており、新しい形のグローバル教育がスタートします。

さらに、タブレットやアプリ、そして希望者への給食提供など、地元大子町から人材育成や地域の活性化を目的とした支援を受け、手厚い教育活動を行っています。

新たな自分との出会いやさらなる可能性を見つけ、『夢』や『進路希望』の実現に向けた第一歩を、この「大子清流高校」で踏み出してみたいかがでしょうか。

生徒会長からメッセージ



生徒会長
吉澤 阿門
(3年・大子西中)

この大子清流高校は、すべての系列が進学にも就職にも対応した学習のできる総合学科と、大子町特有の自然の豊かさを生かして学ぶ農林科学科があります。どの学科でも、現代の社会に対応した個性を伸ばしていくための学習や活動をすることができます。また、タイ王国のカセサート大学附属高校との交換留学など国際交流も経験できます。私も2年連続で参加しましたが、これからの社会に必要なコミュニケーション能力を身につけられると共に、英語力を必要とされる社会に一步踏み出す勇気を必ず与えてくれるいい機会になると思います。